星の王子さま

Je ne te quitterai pas.

2018年3月24日(土) 18:30開演(17:45開場)
25日(日) 14:00開演(13:15開場)
プレトーク：24日(18:00～)、25日(13:30～)
会場：金沢市民芸術村パフォーミングスクエア(金沢市大和町1-1)

コラボレーションシリーズvol.4
音楽詩劇「星の王子さま」改訂版初演

原作：サン=テグジュペリ
作曲：木埜下大祐
演出：前伊知郎
振付：山田洋平
映像：野崎貴弘
日本語訳(字幕)：管啓次郎

語り手A：ディディエ・ダブロフスキ
語り手B：美緑トモハル
指揮：木埜下大祐
演奏：金沢市民芸術村レジデント・アンサンブル

[入場料]一般2,000円(当日2,500円)
高校生以下1,000円(当日1,500円)全席自由
※未就学児の入場はご遠慮ください。

[チケット取り扱い]金沢市民芸術村、石川県立音楽堂チケットボックス、金沢楽器開進堂楽器 楽器センター金沢、うつのみや ミューズイン

主催：金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会　共催：金沢市、(公財)金沢芸術創造財団　後援：アジア同時代音楽協会(ADOK)、北國新聞社
特別協力：角川文庫(KADOKAWA)　協力：ばふぉくる、金沢浪漫紀行団、K-CUBIC　特別協賛：菊乃や　問い合わせ先：金沢市民芸術村(tel:076-265-8300)

砂漠、夜空、空気。
交わる言葉にあたらしい響きを見る。
自分だけの星の王子さまと出逢えるかもしれない一夜。

よく知られた星の王子さまの物語。サン＝テグジュペリは文字と自身の描いた絵によって彼一流の、幻想的で見るものを深い思索に導く世界を現出させました。2016年に初演されたこの音楽詩劇「星の王子さま」ですが、今回は原作の持つ言葉の力を再構成し、音楽とフランス語・日本語の響き、ヴィジュアル・アートと舞踊が有機的に結びつきながら、多次元的に展開する思索的空間を音楽詩劇という形で創り出します。美しさはそれ以外のなにものでもないのに、何かを隠しているのです…。

2018年1月
金沢市民芸術村ミュージック工房ディレクター　木埜下大祐

木埜下大祐（きのした だいすけ）
－作曲／指揮－

金沢市出身。金沢二水高校卒業。洗足学園魚津短期大学、同研究科、桐朋オーケストラアカデミーを経てハンブルク音楽院（石川県芸術インターンシップ在外研修員）、ブレーメン芸術大学卒業。現代音楽演奏コンクール“競楽”にて2度の審査委員特別賞の他、入賞多数。元ゲイヤンシンフォニーオーケストラ首席フルート奏者。作曲家としてはこれまでオペラ「東京ファウスト」、音楽詩劇「星の王子さま」が初演され、好評を博した。現在、アジア同時代音楽協会(ADOK)会長。金沢市民芸術村ミュージック工房ディレクター。東京成徳短期大学准教授。

山田洋平（やまだ ようへい）
－振付－

アーティスト、演出家、振付家、ディレクター、企画制作。筑波大学芸術専門学群卒業。2005年より東京にてダンサーとして国内外のアーティスト作品に出演。2010年から2013年はベルリンを中心に活動。主なアーティストとして、コレット・サドラー、トリスタン・シャープス、ダレン・ジョンストン、ティノ・セーガル、アレッシオ・シルヴェストリン、ユーリ・ンなど。2013年より石川県に移住。

ディディエ ダブロフスキ
（Didier DABROWSKI）－語り手A－

エクサンプロヴァンス大学で文学を、パリにて演劇を学ぶ。'95年、俳優としてのキャリアをエクサンプロヴァンスで始め、その後、マルセイユを中心に活動。同地の高校で演劇教育にも従事した。コメディア・デラルテに至る領域まで探求し様々な技術を習得、古典から現代まで数多くの役柄をレパートリーとする。'07年古関すまこの招きにより来日。翌年プロスペクト・テアトルを立上げ、様々な作品を制作。'14年、東京国際フランス学園にて演劇教育を再開している。

前伊知郎（まえ いちろう）
－演出－

1978年生まれ、金沢市出身。英国立ノッティンガムトレント大学で現代美術を専攻、パフォーミングアートや映像・写真など幅広いジャンルでの作品制作を行う。イギリス、ニューキャッスルで:zoviet*france:とのパフォーマンスコラボレーション、ドイツeuro-scene leipzigにコンテンポラリーダンサーとして参加、最近ではオーストラリア・メルボルンでのグループ展「Ku-kikan」の企画など。

管啓次郎（すが けいじろう）
－日本語訳（字幕）－

1958年生まれ。詩人、明治大学理工学研究科総合芸術系教授。2011年、『斜線の旅』（インスクリプト）で読売文学賞受賞。詩集に『Agend'Ars』4部作、『数と夕方』（いずれも左右社）。グリッサン『関係の詩学』、アジェンデ『パウラ』、ベンダー『燃えるスカートの少女』など、仏語・西語・英語からの翻訳多数。小説家・古川日出男らと朗読劇『銀河鉄道の夜』を各地で上演している。

美緑トモハル（みろく ともはる）
－語り手B－

地元石川県にて、主に舞台で活躍。TV-CMへの出演や、ナレーション、ダンスの振り付けと活動は幅広く、昨年より芸能事務所『Fabbrica』所属となる。初演 星の王子さまに出演。

［ダンサー］小西健太朗

金沢市民芸術村レジデント・アンサンブル
［フルート］川崎惇（2016年度金沢市民芸術村レジデント・アーティスト）
［クラリネット］吉川裕之（2016年度金沢市民芸術村レジデント・アーティスト）
［ヴァイオリン／ヴィオラ］二村絢子　［チェロ］伊田直樹

［映像］野崎貴弘　［照明］宮向隆　［舞台制作］金沢舞台

金沢市民芸術村アーティスト・イン・レジデンス事業について

本事業は、2015年度から始まった金沢市民芸術村ミュージック工房の事業で、日本全国から幅広く参加者を公募しています。選ばれたアーティストがレジデントとして芸術村の各種事業へ継続的に参加し、様々な形で音楽的・人間的ひろがりを作ると共に、その成果を地元の方々に発表・還元することを目的としています。